



咲き誇る

伊豆の国市大仁中学校
学校だより 特別号
令和元年 9 月 30 日発行



学校教育目標 『夢を拓く』～学ぶ喜びを分かち合う生徒～

1 学期末保護者アンケート結果報告

1 学期保護者アンケートにご協力いただきまして、ありがとうございました。保護者アンケートの結果をご報告いたします。

各項目 4 点満点で評価していただいていますので、得点が 3 点を下回るもの、また前年度より 0.05 以上低くなっているものを、現在の大仁中学校の課題と捉え、2 学期から対応しております。

まず、右の一覧表にある各項目のうち、最も重要であると言える最初の質問「学校に行くことを楽しみにしている」の点数が下がってしまったことを心配しています。(ただ、生徒の「あなたの学校生活は楽しく充実していますか」については、ほぼ昨年と変わらぬ数値です。)かしわ祭などの行事を充実させながら、練習で大変な思いをしている生徒にも配慮していくことで、誰もが学校に行くことを楽しみに思えるようにしていきたいと考えています。また、学校からのお便りやホームページを充実させ、学校での生徒たちの様子を発信していきたいと考えています。

2 つ目の「家庭学習時間」は、点数がなかなか 3 点に届かず、懸案となっている項目です。昨年度と比べてかなり下がってしまいました。(保護者 2.46→2.40、生徒 2.96→2.81)かしわ祭終了後は学習に集中できる環境作りを目指していきます。教職員も「授業で勝負」を合い言葉に、魅力ある授業づくりに努め、授業と家庭学習の両輪で学力向上を目指します。

全体として、評価が昨年と比較して、横ばいか下がっている項目が多いです。この厳しい評価を受けて、全職員なぜこのようなことになったのか分析して、2 学期以降対策を講じていきたいと思

います。

自由記述欄より

質問への回答だけでなく、自由記述欄にも様々なご意見をいただきました。ありがとうございました。そのうちのいくつかについてお答えいたします。

『以前、登校時の車の送迎について対策がされましたが、効果が出ていると思います。危険な場面を目にすることがなくなりました。引き続きよろしく願いいたします。』

・登校時の送迎については、「諸事情により自家用車で送ってもらう場合には、車で大中坂には進入せず、北駐車場で降車し、大中坂を徒歩で上がる。(ただし、病气けがの場合には、ロータリーまで搬送することができます。)」ということをお願いしています。効果があつて良かったと思います。引き続き、ご協力よろしく願いいたします。

『部活の完全下校に一人でも遅れると部活停止になるということで、トイレも家に帰るまで我慢することがあるそうです。』

・部活終了から下校時刻まで15分あるので、トイレに行く時間はあると考えております。また、部活動の最中にもトイレに行くことはできます。実際、下校時にトイレに行きたいと言って来る生徒もいますが、我慢させるようなことはしておりません。「部活の完全下校に一人でも遅れると部活停止になる」ということはありません。ただ「下校時刻まで○●分だぞ。早く下校しよう。」というような指導は行っています。部活動終了時刻を守らせ、下校まで15分間確実に取れるよう指導していきます。

『衣替えの時期がバラバラで、タイミングがわからない。子どもは「先輩が替えてから」と言うが、日を決めてほしい。また、通学バックも指定にしてほしい。他校と比べてだらしがないです。』

・教員から一般的な衣替えの時期(6月から夏服、11月から冬服)を示します。しかし、暑さ寒さは日によって違い、また感じ方も人それぞれです。そこで、今まで大仁中では、「衣替えの期間を設けず、生徒の判断で夏服でも冬服でもどちらでもかまわない」という指導をして参りました。ただ、教員の中にも、真冬に夏服で登校してくる生徒がいるのはいかななものかという意見もあります。あまりに、季節に合わない制服で登校してきた生徒には、個別に「この時期に、夏服(或いは冬服)はどうなの?」と指導しているところです。

・通学バックについては、黒を基調にした両肩で背負うバックタイプのものを使用しています。指定にすると、入学時に新たにバックを購入する必要が出てくると、指定にしない方がお金がかからなくて良いだろうという判断で、現在の形になっています。黒系でそろえてあれば、特にだらしなさは感じてはいませんでしたが、いかがでしょうか?

『いじめについて、学校は努力をしてくださり大変感謝しています。ありがとうございます。ですが、いじめる本人は注意をされてもやめるどころか、先生にばらしたと逆恨みをして、本人だけに聞こえるように嫌な言葉を言ってきます。やめるつもりがないようですが、言われる側は我慢をす
るしかないのでしょうか。』

・常に情報提供を求めています。生徒を注意深く見守り、いじめがなくなるように努力をしていきます。学校では、毎月末に生活アンケートを実施しています。その折り、いじめに関する調査も行っています。アンケートは、家で記入しますので、秘密が守られるように配慮しています。生徒からの相談に丁寧に対応するようにしています。また、年に2回教育相談月間を設けており、生徒は少なくともこの2回は教職員と相談できる体制を作っています。いじめの訴えや、いじめかもしれないの目撃情報があれば、担任や学年部を中心に迅速に指導する体制をつくっています。重大事案と判断すれば、いじめ対策委員会を立ち上げ、学年部だけでなく校長、教頭、生徒指導担当、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーなど外部の方とも協議をして、いじめ解決に向けて対応しています。本年度も、いじめ対策委員会を立ち上げ対応を協議したケースもあります。ほんの些細なことから、重大事案になっていくケースもあります。生徒たちはまだまだ未熟です。全職員一枚岩になって、どの生徒も、いじめのない楽しい学校生活を送らせたいと思います。引き続き、情報提供等ご協力よろしくお願いいたします。

『宿題が少なすぎます。もう少し勉学に力を入れられるようにしてもらいたいです。』

・現在、学年ごと宿題については、ほぼ以下のようになっています。宿題を出せない生徒が、各学年ともクラスで2～3名ほどいます。

【1年生】 宿題の量はそれほど多くありません。英語ラボ、漢字、数学ワーク等があります。

【2年生】 毎日のものは、漢字と英語。あとは、各授業で出される課題。11月から、自習室が始まります。自習室は、毎日1教科ずつ提出することになります。

【3年生】 毎日のものは自習室。あとは、各授業で出される課題があります。

【6組】 担任が、個々に違う課題を出しています。

学習の進め方がわからないことに不安を感じていることもあると思いますので、その点を支援していきたいと思えます。また、日記を利用して短文を書く練習をするということも考えられます。量を増やすだけでなく、どのような宿題を出すかも、学校で工夫したいと思えます。

『塾に通っていない。勉強が苦手な子どもに対しての補習的な時間があると助かります。』

・定期テスト前に学習相談の時間を設けています。その時間を有効活用して指導していきます。また、普段から気軽に相談するように保護者の方からも勧めてください。

『学校からのメールはありがたく、安心します。もっと多く発信していただくように希望します。』『行事予定のプリントに部活動の時間が記載されるようになり、大体の帰る時間がわかってよかったです。』

・急な予定変更のとき、数日後にお弁当が必要なとき、PTA の会合通知、部活動ごとの連絡等をメールで行っています。また、行事予定も生徒を通して配布していますので、今後ご要望があればお知らせください。

尚、週に1度、学校のホームページを更新しています。生徒の学校での様子をお届けしていますので、そちらも是非ご覧ください。



←大仁中 QRコード

こちらから、携帯を使うと簡単に大仁中ホームページをご覧いただけます。

<http://ohito-chu.izunokuni.ed.jp/>